

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 10 回 定例委員会
日時	平成29年9月22日 自 15時00分 至 16時30分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	教育長 和野 幸夫 委員 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫
欠席委員	
会議録署名委員	植木 忠夫 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 瀬 能 仁 教 育 部 次 長 山 口 朋 史 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 施 設 課 長 山 地 吉 明 学 校 教 育 課 長 斎 藤 貴 志 生 涯 学 習 課 長 鍛 冶 貴 宏 第 1 学 校 給 食 共 同 調 理 場 長 宮 嶋 和 久 施 設 課 長 補 佐 南 川 大 樹 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 事 安 藤 龍 慧
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（植木忠夫委員）
3 会議録の承認
（和野教育長） 第9回定例教育委員会（平成29年8月25日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（和野教育長） 本日は、午前中にウトナイ小学校、午後から苫小牧東小学校を視察していただき、ありがとうございます。学校訪問の際に何点かお話をいただきましたが、他に気が付いた点がございましたら、改めてご指摘をいただきたいと思っております。
各学校では、8月22日に2学期がスタートしてから1か月が経過し、充実した教育活動を展開しております。中学校の文化祭や学校祭は9月中旬から下旬にかけて開催され、小学校の学芸会や学習発表会は10月中旬から下旬の開催が予定されております。本格的な台風シーズンを迎え、臨時休業の判断が難しい季節になりました。先日の台風18号では、学校施設にも倒木や校章などの被害がありましたが、特に最近
は地球温暖化が原因なのか、台風が蓄える水蒸気量が増えて豪雨を生むなどその勢力が増しており、大変心配な状況にあると感じております。一方では、天気予報の精度

が向上し、大きく予報がずれることもなく、私どもの判断がしやすくなったと思えます。ただ、局地的な豪雨に関してはそれぞれの学校判断も必要になると考えているところでもあります。

8月25日の定例教育委員会以降の行事などについて報告いたします。

はじめに、8月26日に「出光興産コンサート～みらいを奏でる音楽会～」が開催され、日本有数の和楽器オーケストラに東南アジアから民族楽器の奏者を加え、更に苫小牧東小学校ブラスバンド同好会も加わったコンサートの構成でありました。昨年度まで「ミュージック・イン・ミュージアム」として開催してまいりましたが、装いも新たにスタートしたところでもあります。多くの市民の方に来場いただき、充実したコンサートとなりました。

8月30日には、元苫小牧東小学校校長である入谷壽一さんに瑞宝双光章受賞の伝達を行いました。入谷さんは、皆様ご存知のとおり平成26年に苫小牧市文化賞を受賞された本市の文化活動の重鎮でもあります。88歳を迎えられ、ますますお元気な様子で、今後ともご活躍を期待するところでもあります。

8月31日には、胆振教育局にて人事推進会議、教育長会議、更に北海道教育庁の村上学校教育監による教育講演会が開催されました。教育長会議では、教頭の負担軽減に関して、休日や祝日に出勤しての国旗掲揚の見直し、長期休業期間中の学校休校日の実施について、既に取り組んでいる市町もありますが、胆振管内として統一的な考えで取り組む方向性が示されました。また、胆振教育局や各市町教育委員会が一方的に指示をする事柄ではなく、各学校で地域や学校の事情を考慮して取り組む必要性も同時に示されたところでもあります。この点については、先の校長会議でも私から説明しております。また、教育講演会では、なぜ今女性活躍が求められているかなど、学校現場での女性の活躍を期待する講演の内容でありました。

9月2日には、「札幌親子しおさいコンサート」が開催されました。指揮者として佐藤俊太郎さんを迎え、楽器の紹介や指揮の実演を盛り込み、モーツァルト、チャイコフスキー、ブラームス、シベリウスなど6曲をダイジェスト的に演奏し、昨年と比

べて120名多い932名の方にオーケストラ演奏を楽しんでいただきました。

9月5日には、学校職員永年勤務者表彰の表彰状伝達式を行いました。今年は33名が対象で、15名が出席されました。昭和62年に教職員生活をスタートし、当時は職住分離で西地区に人口が集中し、昭和58年に明德小学校、昭和60年に泉野小学校が開校しております。これまでの本市の教育に対するご尽力に感謝を申し上げ、今後とも研鑽を積まれ、その姿で若い教員を引き上げて欲しいと祝辞を述べております。

次に、議会関係ですが、第12回定例会は8月30日に議案説明会が開催され、会期は9月7日から15日まででありました。一般質問では、7名の議員から8項目について、また文教経済委員会では、前日にご審議いただきました平成29年度教育委員会点検・評価報告書、苫小牧東小中学校改築計画、第16中学校の校名について、第2学校給食共同調理場整備基本方針及び民間委託について、それぞれ報告をしております。一般質問の項目では、あいさつ運動、第2学校給食共同調理場、小中一貫教育、コミュニティ・スクール、特別支援教育、支援員の配置、幼少連携、教員の働き方改革についての内容でありました。また、学校規模適正化について、東小中学校の地域説明会での質疑に関して、保護者のコンセンサスの状況や小中連携・一貫教育についての質疑、また、教育委員会の活性化として教育委員による先進地の視察についての質疑がありました。これに関しては、関係部局と協議すると答弁をしております。

また、議案では、新教育委員として齋藤智子氏が議会の同意を得ております。

一般質問での質疑の詳細は、別途まとめたいと考えております。小中一貫教育や連携教育について、学校現場や教育委員会内部でも具体的な協議を進めておりますが、実施には大きな課題もあり、現時点では明確な方向性を決めることができておりません。今後、精力的に協議を進めてまいりたいと考えております。

最後に、学校管理職昇任採用試験について、校長採用に23名、教頭昇任に13名、主幹教諭に3名が挑戦をする予定になっております。特に、厳しい勤務環境の教頭職に多くの教員が挑戦することに対して、先の校長会議で校長先生の取組に感謝を申し

<p>上げたところであります。それぞれの教員が、自身の教育に対する思いや描く姿をきちんと採用側に伝えることができ、努力が実ることを期待しているところです。</p>
<p>本日は、議案も多く提出しております。ご審議をよろしくお願いいたします。</p>
<p>報告は以上でございますが、何か質問はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>5 議 案</p>
<p>第1号 平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について</p>
<p>(教育部参事) -平成29年度苫小牧市統一学力検査の結果と考察の公表について</p>
<p>説明-</p>
<p>(和野教育長) 質疑に付します。</p>
<p>(植木委員) 参事からいろいろと説明をいただきまして、苫小牧市の子供たちの状況はわかったのですが、今、最終的にデータを送信してホームページで公開、それから各学校がそれぞれに公開するというお話があったのですが、具体的にはこのデータそのものを公開するのか、それとも新たに何かをつくって保護者に配布したり見せたりするのか、その辺についてわかりましたら教えてください。</p>
<p>(教育部参事) 学校での公表につきましては、数値そのものを公表するというよりは各学校の得意・不得意の部分についてということで、教育委員会として雛形を提示しまして、それに添った形で全校で統一して公表できるように考えております。</p>
<p>(植木委員) わかりました。</p>
<p>(佐藤守委員) 関連して、テストを受けた子供たちにはどのような通知が行くことになるのでしょうか。</p>

<p>(教育部参事) 子供たちのデータにつきましては、一人一人の部分については数値が入ったものが子供たちのところに行って、それを活用して各学校では子供たちの放課後補充学習等に活用できるようにしていただくような形になっております。</p>
<p>(佐藤守委員) その内容は、見やすい形になっているのでしょうか。どのような形になっているのか、具体的にわかれば教えてください。</p>
<p>(教育部参事) 教科ごとの得点率と、領域ごとに子供たちの特徴がそれぞれ出た形で、グラフと数値で示されております。</p>
<p>(佐藤守委員) ありがとうございます。</p>
<p>(佐藤郁子委員) 全体的な説明で、子供たちに少しずつ学力がついている、学習を理解しているということがわかりました。今日訪問した学校でも、習熟度別で先生方がそれぞれ対応されていて、その学校の地域や生徒の数に合わせて随分と工夫されていることがわかりましたので、これからも学ぶ習慣を身に着けながら、継続して少しずつでもいいので、学力が上がって勉強するということを覚えていくような環境をつくっていただきたいと期待しております。</p>
<p>(和野教育長) 他にございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>(和野教育長) それでは、原案どおり決定をすることとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>-原案どおり決定-</p>
<p>議案第2号 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の考察の公表について</p>

(教育部参事) -平成29年度全国学力・学習状況調査結果の考察の公表についての説明-
(和野教育長) 質疑に付します。質問等はございますか。
(佐藤守委員) 先ほどの流れと同じように学校に通知するというので、苫小牧市の場合には東西に長く、学校ごとに問題とするところが違ってくると思うのですが、それぞれの学校に合わせた形の指導をしていくような予定でしょうか。
(教育部参事) ご指摘のとおり、本市全体の傾向は把握いたしましたが、学校ごとに課題は違うので、保護者に公表するものにつきましても、全市の傾向に加えてそれぞれの学校の傾向をまとめて公表することになっております。それを基にして、学校訪問等の機会を通じて、それぞれの課題に応じた授業改善について教育委員会からも指導していく予定です。
(佐藤守委員) この全国調査の中で、保護者向けの調査もあるように聞いております。全市で実施している訳ではないと思うのですが、苫小牧市では実施しているのでしょうか。
(教育部参事) 保護者向けの調査は、抽出で実施しております。その他の調査は全ての子供たちと学校で行っておりますが、保護者向けの調査は抽出になっておりまして、その結果につきましてはまだ出ていない状況になりますので、それについては、また別途こちらで公表する形になると思います。
(佐藤守委員) 文部科学省の方から、いろいろな課題についての授業のアイデア例が出ているように聞いているのですが、そのようなものも苫小牧市では活用しているのでしょうか。
(教育部参事) 全国学力・学習状況調査の結果を受けて、結果の分析は国立教育政策研究所というところを出しているのですが、文部科学省も結果を受けながら、課題があるものについてはこのような授業例があるということで、各学校に配布しているところではございます。それに加えて、苫小牧市としましては、苫小牧市全体の課題

傾向を踏まえた中で「苫小牧っ子学力UP！ハンドブック」をそれに合わせて改訂し、課題について示したいと考えているところでございます。

(佐藤守委員) ありがとうございます。

(上原委員) 調査結果のところに書いてあるのですが、当日は臨時休校だったという事です。それで、各学校で日程調整をした上で実施されたということですが、例えばマスコミ等でテストに関する内容が出ていたのではないかと思うのですが、勘違いだったら申し訳ないのですが、それで果たして今回の調査は精度的にどうなのかなということ単純に疑問に思ったのですが、そこら辺の問題というか課題はなかったのでしょうか。

(教育部参事) 問題と正答につきましては、当日のうちに当然プレス発表がされております。その後の実施ですので、確かにそのようなご指摘が出ることと思います。

問題と答えが出た後でどうなのだという事はありますが、我々はこの調査結果につきましても、現状の実態を把握するという意味で参考になると押さえております。

特に、B問題等につきましては、問題を見て答えがわかるというようなレベルの問題でもないものですから、かなり子供たちの実状に近いものがあるかなと押さえております。大事なのは、子供たちがその問題について理解をし、納得をして確かな学力の定着につながっているのかということだと見ておりますので、今回の結果を基にして、今回できていなかったところや課題があるところ等を中心に各学校に取組を進めていただくということで、活用は可能と考えています。

(上原委員) 問題点の把握をすることはできるのだと思いますが、ここに結果が示されて、それを全国の数値と比較しているということからいけば、あまり意味を持たないのではないのかという気がしたものですから、全国と比べるということについてはどうなのか、そこら辺の考え方を教えていただきたいです。

(教育部参事) テストの実施状況からすると、確かに事前に問題や答えを見た上で試験を受けた子供もいるかも知れないということを前提にしておりますので、先ほどお話ししたとおり、結果の数値自体は今後も参考値としての比較になるだろうと押さ

えています。ただ、これまでの各学校の取組や成果を見た時に、全体的な傾向として見る上では若干の上昇はあったかも知れませんが、参考にする上では十分使える資料だというふうに考えております。今後も、参考値としての比較ということで押さえていくしかないのかなと考えております。実際に東日本大震災の時も、全国的には同日実施はできずに全て参考値ということで比較・対照をしております。それと同じように、今回も参考値として取り扱いながら、全体的な傾向や課題に活用できればということで、全国の傾向とも比較しながら、どこに課題があるのかということで押さえていきたいと考えております。

(上原委員) 全国の学力・学習状況調査ですから、苫小牧市のように当日実施ができなかったということは全国的にあるのかなという気はいたします。その場合、苫小牧市のように各学校で日程を調整して後日実施するというような対応を取られるのが普通なのでしょうか。それとも、先ほど答弁があったように、参考ということなので参考ならば必要ないというところがあるかも知れないという気がしたのですが、その辺の取り扱いの仕方についてどのような例があったのか、教えていただきたいと思えます。

(教育部参事) 当日実施ができない場合については、実施要項にも規定がございまして、当日実施できない場合については期限の定めがありまして、その期限までに試験を実施したものについては集計・分析等を行います。全国調査の数値には組み入れられないという形の実施になっております。今年度につきましては、特に北海道でいえば胆振管内の主な市ではほぼ全部が当日実施をしていない状況にありますが、同じように後日実施をしているというふうに聞いております。全国的には、今回は特に北海道の天候が悪く、北海道で当日実施できなかったところがほとんどだというふうに聞いております。そこは全て後日実施にしておりますので、実は北海道全体の平均集計にも組み入れられていません。

(上原委員) わかりました。

(佐藤守委員) この調査は10年目を迎えたと思うのですが、文部科学省として、

10年を区切りに今後の予定等について聞いていることが何かあれば教えていただきたいです。今回も秋田県、石川県、福井県という上位3県が変わっていない状況で、苫小牧市でも先生方が視察に行かれて、視察に行った結果、苫小牧市でも少人数学級やチーム・ティーチングなどを取り入れていると思うのですが、10年が経った時点で、苫小牧市でもそろそろ検証をする予定はあるのでしょうか。

(教育部参事) 平成19年からスタートしていますが、平成19年には苫小牧市では全国との著しい差がありました。そこからの回復で、今回はほぼ全国と同等という評価が出るころまで学力が向上してきたということで、我々の方でも、一定程度ここについて評価・検証する時期に来ているというふうに思っております。それから、分析の方法等につきましても、ただ全国と比較するだけではなく、ほぼ全国と同等という状況であれば、より具体的に課題が何なのかということをはっきりとさせていく必要が出てきているなというふうに思います。今までは全体的な課題ということでしたが、今後は詳細な課題について触れながらやっていこうと思っていますので、そういった分析・評価をした上で、次年度の学力向上プランや学習プラン等にその分析や評価を反映させていきたいと考えているところです。

(佐藤守委員) ありがとうございます。

(和野教育長) 他にございますか。なければ、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

-原案どおり決定-

議案第3号 平成29年度苫小牧市文化賞・文化奨励賞の選考について

議案第4号 教職員の処分について(内申)

(和野教育長) 議案第3号及び議案第4号につきましては人事案件でございますので、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、この場合、会議の日程の最後に当該議案の審議を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
(一同「はい」の声)
(和野教育長) それでは、議案第3号及び議案第4号を秘密会とし、日程の最後に審議を行うことに決定いたします。
6 協 議
(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。
(一同「なし」の声)
7 その他
(1) 平成28年度苫小牧市学校給食会決算書について
(第1学校給食共同調理場長) -平成28年度苫小牧市学校給食会決算書について
説明-
(和野教育長) 質疑に付します。何かございますか
(佐藤守委員) 予算額と収入済額とで差額が100万円以上出ていますが、その理

<p>由を簡単に説明していただけますか。</p>
<p>(第1学校給食共同調理場長) 当初予算と比べて野菜や主食の米等につきましてはその時々気候等によってかなりの変動があるということで、その分が差額となっております。</p>
<p>(佐藤守委員) わかりました。</p>
<p>(上原委員) 不納欠損額についてなのですが、今説明していただきましたが、この表では120万円程度ということになっています。説明の中にあつたように、これは平成26年度分ということで、2年経つと債権が消滅するので、これは不納欠損として落とすということになるということでした。平成27年度の決算を見ますと、不納欠損額は平成25年度分ということになりますが、その時は630万円ありました。平成28年度は平成26年度分ということですが、120万円に激減しています。単純に言いますと、5分の1になっている訳です。これには恐らく何か理由があると思うのですが、その点、どうしてこれだけ小さくなったのでしょうか。少なくなる分に関しては、私は良いのではないかと思うのですが、数字がどうなのかなということです。</p>
<p>(第1学校給食共同調理場長) 不納欠損額につきましては、ピークが平成19年で2,800万円程ございました。その後、収納担当が頑張ってきたということもあり、平成25年度分は630万円その後激減したということなのですが、先ほどお話ししたように、2年間で時効ということもあるのですが、相手と話す時に支払いについて誓約書を書いてもらって時効を中断させるという手続きを取っており、それで不納欠損がなくなるということで、平成24年、平成25年くらいからそのような手続きを取っているため、大幅に不納欠損額が減っているという状況になっております。</p>
<p>(上原委員) わかりました。今、佐藤守委員からも質問があつたのですが、特に支出の方で、予算現額と支出済額との比較ということで見ていきますと、主食費と副食費で増減が全く逆になっていて、主食費の方は予算現額と比べて1,500万円近く増えていますし、副食費の方は予算現額と比べて1,300万円近く減っている訳で</p>

す。そこから考えると、確かに価格の面もあると思うのですが、何か理由があるのかなという気がいたしました。それで、1,500万円と1,300万円近くの金額ですから、予算の積算の仕方はどうなのかなということも単純に思いました。その点についてどう考えているのか、教えていただきたいと思います。

(第1学校給食共同調理場長) 予算の数字の出し方なのですが、前年の決算の割合で大体その年の予算を決めています。そういった中で、先ほどもお答えしたとおり天候等ということで、例えば平成27年度と比べて主食費が大きく上がったというのは、平成27年は米の値段が大きく下がりました。それを基に計算して予算を組んだものですから、値上がりするということになると主食費が大きく上がります。あと、給食費全体の予算中でやっておりますので、主食費が上がれば副食費の中で若干調整が必要になってくるため、そのような形で増減があったということです。

(上原委員) わかりました。もう1点、最後の欄に職員の退職積立金というものがあります。お聞きしましたら、以前から積み立てていたような説明だったと思いますが、これは平成27年度の決算では報告がありませんでした。それで、平成29年度の予算の時には、退職積立金の案ということで予算が出されました。それで、今回平成28年度の決算ではこれだけありますよということで、年度末の残高を示されました。平成28年度になってから決算の書式の中に入れたというのは、例えばどこから指摘があったとか、あるいはこうしなければならないとか、そういう特別な理由があったのでしょうか。

(第1学校給食共同調理場長) 監査委員事務局で、学校給食会の決算についてということで監査を受けまして、その中で退職積立金について記載がないということで指摘を受けまして、このような形にいたしました。

(上原委員) わかりました。

(和野教育長) 他にございますか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) それでは、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(2) 苫小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築計画(案)に係るパブリック
コメントの結果について

(施設課長) -苫小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築計画(案)に係るパブリック
コメントの結果について説明-

(和野教育長) 質疑に付します。何かございますか。

(一同「なし」の声)

(和野教育長) それでは、その他(2) 苫小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築計
画(案)に係るパブリックコメントの結果についての質疑を終結いたします。

次に、先ほど秘密会と決定いたしました議案第3号及び議案第4号の審議を行いた
いと思います。関係者以外は退席をお願いいたします。

(和野教育長) それでは、秘密会を解かさせていただきます。

なお、議案第3号及び議案第4号は原案どおり決定となりました。

8 委員会閉会の宣言(和野教育長)・・・16時30分